

## 「ちょっとでもおかしいと思ったら…」

○自分たちだけで何とかしようとしな  
いで、専門機関に相談してください。  
自分の考えや価値観だけでは、適切な  
判断や行動は難しいのです。



我慢したり、悩んだりしているなら、まず電話で相  
談をしてみてください。匿名でも相談できます。

ちょっと不安でも大丈夫。勇気を出して相談をし  
て、専門家からの話を聞くことで、これから先、あな  
たやあなたの周りの人を助ける大切な知識を持つこ  
とができます。

もし誰かから相談を受けたら、まず否定せずに話を  
ゆっくり聞いてあげてください。被害にあっているこ  
とを言葉にするのは、とても勇気がいることなので  
す。そして、専門の相談窓口があることを教えてあげ  
てください。

### <相談先>

- 高知県女性相談支援センター（配偶者暴力相談支援センター）：833-0783 月～金 9～22 時 / 土日祝 9～20 時 ※年末年始を除く
- こうち男女共同参画センター「ソーレ」 女性向け：873-9555 / 男性向け（予約制）：873-9111 ※休館日を除く
- 相談先に迷ったら、全国共通DV相談ナビ：0570-0-55210（お近くの相談窓口をご案内します）



↑香長中学校の出前教室の様子  
(11月17日)

南国市内17の小中学校では、南国市男女共同参画推進計画広報版  
リーフレット(※)を使った「男女共同参画推進出前教室」を、今  
年度から新たに5年計画で行っています。  
本年度は昨年9月に後免野田小学校、10月に三和小学校、11月に  
香長中学校で行い、2月には鷹ヶ池中学校で実施する予定です。  
中学校では(公財)高知県人権啓発センター 理事 吉川葉子さ  
んを講師として迎え、「デートDVって何?」をテーマに授業を行  
いました。  
※「南国市男女共同参画推進計画(平成24年3月に10年計画で策  
定)」の広報を目的に、平成25年2月に作成。

「自分とは違う価値観や考えがあ  
ってそれを受け入れることが  
大切で、相手の立場になって考  
えたり正直な気持ちを伝えるこ  
とが大事だと吉川先生の話を知  
りて思いました」(生徒アンケ  
ー卜回答より)

南国市の男女共同参画社会  
に向けた取り組みを、市ホーム  
ページにてご覧いただけます。  
トップページから「分類で探  
す」→「人権」をクリックして  
ください。

参考/内閣府男女共同参画局HP (<http://www.gender.go.jp>), こうち男女共同参画センター「ソーレ」(<http://www.sole-kochi.or.jp>)

## 男女共同参画 シリーズ



## ハーモニー♪

# ～「DV」について 考えてみよう～

「DV」という言葉、あちこちで目や耳にする機会が増えてきました。  
いざ、自分の身に降りかかってきた時、身近な人から相談された時、どん  
なふうに対応すればよいのか、何がDVに当たるのかなど、具体的に考え  
てみてほしいと思います。

## 「DVってなに?」

ドメスティック・バイオレンス (domestic violence) の略。「配偶者や恋人など親密な関係にある、ま  
たはあった人からの体や心への暴力」という意味で使用されることが多く、男女とも被害者になりえますが、  
配偶者からの暴力の被害者は、多くの場合女性です。

## 「たとえばどんなもの?」

### ○身体的なもの

殴る・蹴る・髪を引っ張る・  
腕をねじる・刃物を突きつける・  
物を投げつける など



### ○性的なもの

見たくないのにポルノ映像やポルノ  
雑誌を見せる・中絶を強要する・避妊  
に協力しない など

### ○精神的なもの

大声で怒鳴る・人前でバカにした  
り、命令するような口調で物を言  
ったりする・無視する など



### ○経済的・社会的なもの

電話や手紙を細かくチェックしたり、  
実家や友人との付き合いを制限した  
りする・外出を妨げる・生活費を渡さ  
ない など

●すべてが「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」第1条の「配偶者からの暴力」  
に該当するとは限りませんが、DV相談の対象になります。

## 「逃げたらいいのでは?」

加害者の多くが「お前が悪い」という理由で暴力をふるうため、被害者は自分を責めてしまったり、  
日常的に暴力を受けることで「つらい」という感情が麻痺してしまい、心が疲れ果てていきます。

- 恐怖心：逃げたら殺されるかもしれない
- 無力感：自分はパートナーから離れることができない、助けてくれる人は誰もいない
- 複雑な心理：私のことを愛しているから暴力をふるうのだ、今度こそ変わってくれるのではないか
- 経済的問題：収入がなく、逃げても生活できない
- 子どもの問題：子どもに暴力をふるうかもしれない、転校させるのはかわいそう、父親（あるいは母親）がいなくなるのはかわいそう  
などと考えて、逃げることをできないとってしまう。